

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (近畿)	◎	百貨店（サービス担当）	お客様の様子	・猛暑の影響で、涼感商材の紳士用品や婦人用の身の回り品、雑貨が好調であるほか、イベントや催事も集客力アップに貢献している。また、インバウンド売上も好調で、売上の拡大につながっている。
	◎	スーパー（企画）	来客数の動き	・給与の増加に加え、人手不足の中で雇用状況も安定している。値上げ疲れはあるものの、節約志向がそこまで高まっているとは感じない。
	◎	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・夏祭りやお中元の時期となり、かなり忙しくなっている。
	◎	コンビニ（店員）	来客数の動き	・外国人客の来店が今まで以上に増え続けている。商品を大量に購入する客も多く、日々の売場の補充だけでも負担が増えている。
	◎	家電量販店（企画担当）	販売量の動き	・7月上旬からの連日の猛暑により、エアコンの販売が絶好調である。それに伴い、冷蔵庫や扇風機もよく売れている。
	◎	観光型旅館（団体役員）	来客数の動き	・海水浴を目的とした観光客の利用が増えている。
	◎	都市型ホテル（フロント）	来客数の動き	・4月から5月は好調で、6月は閑散期でやや落ち込んだが、7月は一気に盛り返した。国内需要が好調で、ライブ等のイベント開催が増えたことも、稼働率の上昇に寄与している。
	○	商店街（代表者）	販売量の動き	・業種によって業況にばらつきが目立ち、特に買い回り品の需要回復が遅い。
	○	一般小売店〔珈琲〕（経営者）	販売量の動き	・取引先への販売量が増加している。
	○	一般小売店〔化粧品〕（経営者）	お客様の様子	・7月に入り、気温の上昇とともに、制汗商材や夏のメイク商材の動きは活発化している。前年よりも祝日が2日減ったにもかかわらず、今月も売上が前年を上回る形となった。都市中心部の店舗は売上が10%増となったほか、郊外店舗も5%前後の伸びとなるなど、新型コロナウイルスの5類感染症への移行から1年が経過した後も、売上の増加が続いている。特にフレグランス関連の増加が大きく、ギフト目的での需要と自家需要の両方で前年の2倍近い売上となり、全体をけん引する形となっている。
	○	百貨店（外商担当）	販売量の動き	・株価の上昇に伴い、富裕層を中心とした客が、高級時計や海外ブランド品の購入を増やしている。円安の影響で、インバウンド売上も増加が続いている。
	○	百貨店（外商担当）	来客数の動き	・インバウンドの来店状況は変わらず、好調に推移しているほか、国内客の来店も増加傾向にある。特に、開店前の入店待ちの行列については、長くなる傾向が顕著となっている。
	○	スーパー（企画）	来客数の動き	・商品単価が上がっているほか、来客数は前年を超える水準が続いている。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・欧米からのインバウンドの来店が多く、朝と昼はイートインが満席となる。ただし、インバウンドの来客数は5%ほど増えているが、売上は前年並みである。
	○	コンビニ（店員）	来客数の動き	・月末頃から来客数が増えている。
	○	コンビニ（店員）	来客数の動き	・暑さが厳しくなり、飲料やアイス類など、冷たい商品が売れている。
○	家電量販店（経営者）	販売量の動き	・猛暑でエアコンの販売が増えているほか、住宅省エネ2024キャンペーンの影響で、省エネ型給湯器の購入や水回りのリフォーム案件が増えている。	
○	家電量販店（店員）	販売量の動き	・今夏は例年よりも暑さが厳しくなるとの予報から、早期にエアコンの購入を検討するケースが多いほか、エアコン価格の上昇もあって前年よりも好調である。ただし、その他の家電製品が良い動きではないため、景気が良いとは言い難い。	

○	家電量販店（営業担当）	お客様の様子	・一般客の動きに大きな変化はないが、各種施設や店舗、企業といったB to B関連の動きには変化がみられる。
○	家電量販店（人事担当）	販売量の動き	・エアコンや冷蔵庫、洗濯機などの白物家電の買換えが増えている。また、ようやくコロナ禍に伴う特需の影響が薄まり、テレビやDVDレコーダーなどの販売も伸びている。
○	乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・今月の新車の販売台数は、目標台数、前年の水準共に上回る見込みである。販売単価の上昇もあり、売上も目標額と前年の水準を上回りそうである。ただし、SUV車を中心とした人気車種に売上が偏っているほか、8月のお盆休みが例年よりも長い為、需要が前倒しで出てきたという見方もあり、好調は一過性の可能性もある。
○	乗用車販売店（支店長）	販売量の動き	・今年に入ってから株価が上昇し、景気は良くなりつつあるが、先行きには不透明感が残っている。
○	その他専門店 【ドラッグストア】（店員）	お客様の様子	・ボーナスの支給時期でもあり、売上目標を達成したほか、客単価や買上点数もアップした。うまくクーポンなどを利用し、上手に買物をする客が多いほか、ボーナスの支給でふだんよりもワンランク上の化粧品を買う客も増えている。
○	その他小売【インターネット通販】（オペレーター）	販売量の動き	・ユニフォームなどの大量注文が増えている。
○	都市型ホテル（客室担当）	販売量の動き	・4月以降、単価を上げて販売している。稼働率は下がり気味であるが、売上は前年を大きく上回っている。
○	都市型ホテル（客室担当）	単価の動き	・インバウンドの増加や夏休みに伴う需要により、高稼働が続いている。客室単価についても、8月は前年を大きく上回っている。
○	都市型ホテル（客室担当）	単価の動き	・有名な祭りの開催時期となり、旅行需要が回復している。駅周辺施設を含め、特に週末は高単価での販売が続いている。
○	タクシー運転手	来客数の動き	・以前と比べると気温が上がっているほか、雨などの影響もあり、近距離でもタクシーに乗る客が増えた。それに伴い、売上は10%ほど増えている。
○	通信会社（社員）	販売量の動き	・販売は伸びているものの、他社からの乗換え客の獲得に対する通信キャリアの要望は高まる一方で、出張販売などの増加で支出がかさんでいる。
○	その他住宅【住宅設備】（営業担当）	それ以外	・夏のボーナス支給額が予想以上に多かった。経営者の意識が内部留保を重視するのではなく、社員などに還元する方向に変わったと感じる。
□	一般小売店【衣服】（経営者）	販売量の動き	・夏のバーゲンセールとなったが、多少の動きはあるものの、販売の伸びは目立たないため、とても景気が良くなっているとはいえない。
□	一般小売店【野菜】（店長）	販売量の動き	・都市の中心部はインバウンドでにぎわっているが、当店の周囲でその影響はみられない。
□	一般小売店【呉服】（店員）	販売量の動き	・着物は売れず、動いているのは浴衣や下駄程度である。
□	一般小売店【菓子】（営業担当）	販売量の動き	・お中元商戦が始まり、低額品の販売量は伸びているが、高額品は伸び悩んでいる。
□	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・取引先や旅行者など、これまで売上をけん引してきた客層の伸びがなくなり、横ばいが続いている。
□	百貨店（企画担当）	お客様の様子	・状況が良くなっているようには見受けられない。地方でも、一部の富裕層向けの高額商品は動きが堅調であるが、衣料品や身の回り品の売上は前年を下回っている。明らかに都市部と地方とは、消費動向が異なっている。
□	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・国内客の売上は引き続き堅調であるが、上昇トレンドにあるわけではなく、緩やかな動きとなっている。一方、インバウンド売上も好調に推移しているが、ファッション関連はシーズンの端境期でもあるため、やや一服感がある。

<input type="checkbox"/>	百貨店（管理担当）	来客数の動き	・インバウンド需要は、特選ブランド品や時計、化粧品などが好調に推移している。その一方、婦人服や婦人靴、紳士服といった商材は、前年比で2けた減と苦戦している。
<input type="checkbox"/>	百貨店（商品担当）	お客様の様子	・日並びの影響で、夏のバーゲンセールは6月が増収となった一方、7月は減収となっている。客が欲しい物しか買わない傾向は強く、館内での催事や集客イベントで来客数は維持しているものの、買上にはつながっていない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（マネージャー）	お客様の様子	・衣料品部門は好調であるが、食料品は物価の上昇や、近隣へのスーパーの出店などもあり、生鮮3品の売上が厳しい。来客数についても、前年比で0.5%の減少となっている。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場統括）	お客様の様子	・免税売上は、前月までは前年比で4倍近くに増えていたが、7月は2.8倍ほどになっている。為替の変動に敏感に反応したものは不明であるが、ここ数日は円高傾向が進んでいるため、免税売上への悪影響が予想される。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場マネージャー）	お客様の様子	・円高基調が進んでいる影響か、インバウンドの動きが鈍化している。一方、国内客の動きはこれまでと変わらない。有名な祭りの開催もあり、観光客は増えたものの、買物客は減少傾向にある。
<input type="checkbox"/>	百貨店（商品担当）	販売量の動き	・インバウンドの動きが少し落ち着いているほか、国内客の動きも止まっている。
<input type="checkbox"/>	百貨店（マネージャー）	来客数の動き	・今春の改装効果もあって、来客数は増加を続けており、売上が伸びている。ただし、物価上昇の影響もあり、買上率は低下傾向にある。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場マネージャー）	来客数の動き	・6月中旬に集客力のある食品店舗が新設され、来客数の前年比は5月が3.5%減、6月が12.6%増、7月が7.6%増と少し良くなっているが、店舗オープンの影響を除くと厳しい状況である。特に、婦人服や紳士用品、子供服関連のファッション部門が厳しい一方、インバウンドはラグジュアリー関連を中心に伸びている。
<input type="checkbox"/>	百貨店（マネージャー）	お客様の様子	・特選ブランドや化粧品を中心にインバウンド売上が好調なほか、美術品や宝飾品などで富裕層の消費も堅調な傾向に変化はないが、国内の中間層の購買に力強さはみられず、一進一退の動きが続いている。特にミセス向け衣料や食品は、来客数、買上点数共に減少している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	お客様の様子	・長雨と猛暑が続いており、外出を控える人が増えたせいも、来客数が伸びない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	お客様の様子	・気温が高くなり、日暮れ頃からの来客数が増えているが、昼間の減少分はカバーできていない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	販売量の動き	・直近3か月では、各商品の値上げで販売量の減少をカバーし、前年の売上を上回っている。売上だけをみれば好調であるが、販売量の減少が懸念材料である。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	単価の動き	・猛暑の影響で野菜や果物の価格が前年よりも上がっているなか、カット野菜やカットスイカは毎日よく売れている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・来客数は前年比で横ばい状態が続いている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経理担当）	販売量の動き	・猛暑が続くなか、暑さ対策の商品やスタミナがつく食材の売行きが伸びている。一方、米の不足が報じられたことで、店頭でも品薄になっている。価格も上昇しており、消費への影響が懸念される。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近隣ホテルの稼働率も相変わらず高水準で推移しており、来客数は高止まりの状況となっている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数は横ばいで、買上点数は微増となった。一方、客単価が低下したため、全体としては横ばいの推移となっている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	販売量の動き	・異常な暑さでアイスやドリンク類の売行きは好調であるが、揚げ物の売上は激減している。

<input type="checkbox"/>	衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・3か月前と比べて、来客数、単価共にやや減少している。客との会話でも、収入面での企業間格差がみられ、単価の動きにも反映されている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・繁忙月の翌月となるため、中旬は販売台数が伸び悩んだ。客の行動をみても、活発さがなかったと感じる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店 (営業担当)	来客数の動き	・来客数、販売量共に変化はない。メーカーからの新車の供給は増えてきたが、客の動きはそれほど変わっていない。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店 (店長)	販売量の動き	・来客数は増えていないが、富裕客がコンスタントに高額品を購入している。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [宝石] (経営者)	お客様の様子	・円安の影響が大きく、物価が上がったままで下がる気配がないため、景気の上昇は望めない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [食品] (経営者)	販売量の動き	・全体の売上に大きな変化はないが、消費者向けの売上は落ち込んでいる。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [ガソリンスタンド] (経理担当)	販売量の動き	・今年も猛暑の影響で、ガソリンの販売量は7月に入って急増しているが、前年比では横ばいである。消費者物価が上昇するなか、ガソリン代を節約する動きはみられない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [宝飾品] (販売担当)	お客様の様子	・物価の上昇が止まらず、日々の買物でも節約を意識する状況であり、来客数、販売量共に少ないままである。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [医薬品] (管理担当)	販売量の動き	・UV関連や制汗剤といった夏物商材のほか、化粧品・化粧品雑貨などは順調に動いている。一方、食品や日配品などの生活必需品は横ばいで、医薬品や健康食品、衛生用品は減少が続いている。来客数は3か月前と比べて大きな変化はなく、買上点数は減少となったが、1品単価が上昇したことで、客単価は若干の増加となっている。
<input type="checkbox"/>	その他小売 [ショッピングセンター] (総括)	販売量の動き	・来客数に変化はないが、客単価が下がっているなど、購買意欲の減少がみられる。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・来客数の動きに大きな変化はない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン (経営者)	競争相手の様子	・同業者からは、7月に入って売上が急に減少したという話が増えている。新型コロナウイルスの感染拡大による影響もあり、当社も同じような状況である。来店が集中する日もあれば、閑散としている日もあり、安定しない状態が続いている。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン (店主)	お客様の様子	・季節的に客は増えているが、インバウンドが多く、来客数が増えている割に単価は上がらない。
<input type="checkbox"/>	その他飲食 [自動販売機 (飲料)] (管理担当)	販売量の動き	・値上げは続いているが、人の動きが活発化していることで、それほど大きな変化はみられない。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・例年7月は来客数が減るが、今年は猛暑であるものの、天候は安定していることもあり、客が動いている。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル (総務担当)	来客数の動き	・宿泊はインバウンドの集客による好調が続いており、宴会も一定の回復はみられるが、レストラン、特にディナー帯の回復が足踏み状態となっている。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル (管理担当)	来客数の動き	・厳しい暑さやオーバーツーリズムの影響で、予約のキャンセルも出ているが、アジア圏の観光客による間際予約により、宿泊予約は横ばいの状況である。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店 (店長)	来客数の動き	・ボーナスの支給以降、直近の夏休みの国内旅行がもう少し伸びることを期待したが、前年を下回っている。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店 (従業員)	販売量の動き	・円安の影響で海外旅行が不調である。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店 (役員)	販売量の動き	・7月、8月の夏の旅行需要では、単価は上昇しているものの、受注件数の減少傾向が続いている。

□	旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・夏休みの旅行は申込みの最盛期を迎えているが、パリオリンピックの影響もあって今一つ盛り上がらない。堅実なお金の使い方を考えるなかで、まずは生活必需品が優先されるため、旅行に回る予算はなかなか増えないのが実情である。
□	通信会社（社員）	販売量の動き	・新規客の獲得状況は、以前と変わらず低調である。
□	通信会社（役員）	販売量の動き	・販売数はほぼ前年並みであり、売上や単価の変動につながる事業環境の変化も少ない。
□	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・余りの暑さに、客が外出を控える動きが目立つ。
□	遊園地（経営者）	来客数の動き	・物価の上昇もあり、レジャーへの支出が減っている。また、暑さが人の外出行動に大きな影響を及ぼしており、屋外型施設への客足が止まる要因になっている。
□	その他レジャー [スポーツ施設]（業務担当）	来客数の動き	・来客数はほぼ横ばいとなっている。夏休みに入ったほか、パリオリンピックの開催でスポーツを楽しむ気運は高まるが、連日の酷暑で利用者が増えるかどうかは不透明である。
□	美容室（店員）	単価の動き	・値上げの影響で単価は上がっているが、景気が良いかどうかは分からない。
□	その他サービス [学習塾]（スタッフ）	お客様の様子	・無料体験への参加はみられたものの、入会には至らなかった。無料なので参加しただけという印象を受ける。
□	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・新築分譲マンションの販売では、都心のタワー物件は投資家を含めて需要が旺盛であるが、郊外のファミリー向け物件は販売価格の上昇に消費者がついて行けず、苦戦する物件が増えている。
□	その他住宅投資の動向を把握できる者 [不動産仲介]（経営者）	それ以外	・物価の上昇は続いているが、消費の減速感はない。
□	その他住宅 [展示場]（従業員）	販売量の動き	・資材価格の高騰による建築単価の上昇傾向は、現在も続いている。
□	その他住宅 [情報誌]（編集者）	お客様の様子	・不動産価格の高騰は続いており、実需向けのマンションは購入可能な選択肢が限られる状況である。一方、戸建て住宅との価格のギャップが目立つものの、マンションからの需要のシフトはみられない。
▲	一般小売店 [時計]（経営者）	来客数の動き	・7月以降の異常な暑さにより、来客数の減少が著しい。テレビ番組の気象予報でも、危険な暑さという言葉が毎日のように使われており、外出が避けられている。冷房で涼しい大型商業施設に人が集まるのは仕方がなく、路面店にとっては厳しい状況となっている。
▲	一般小売店 [事務用品]（経営者）	販売量の動き	・暑い日が続いている影響で活気がなく、景気が上向き気配はない。販売に関しても低調である。
▲	一般小売店 [衣服]（経営者）	来客数の動き	・連日、日中の気温が35度を超えており、午前中から既に暑い。当店は50代以上の女性客が大半で、来店は午前中が中心であるが、午前中から気温が30度を超えているため、外出を控える人が多く、来客数が減少している。
▲	一般小売店 [鮮魚]（営業担当）	それ以外	・売上は前年比で10%ダウンしている。
▲	一般小売店 [家具]（経営者）	来客数の動き	・暑過ぎるため、客は午前中だけ来店し、その後は少なくなっている。
▲	一般小売店 [花]（店長）	それ以外	・猛暑の影響で悪化している。
▲	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・国内客の売上動向は、外商客、店頭客共に大きな変化がない。一方、免税品の取扱については、月中旬以降、前月までよりも少し減速感のある点が気になる。

▲	百貨店（販促担当）	来客数の動き	・今月の中旬から、梅雨明け後の猛暑の影響で来客数が伸びない。ニュースでも連日猛暑が報じられ、時には不要不急の外出を抑えるべきとの発信もあり、その影響も受けている。また、物価上昇の継続に加え、急激な暑さの影響で食品の売上が厳しくなっており、来客数も前年を下回る動きとなっている。
▲	百貨店（販売推進担当）	来客数の動き	・今月は、衣料品のクリアランスセールが前月に前倒しされたほか、生鮮食品で競合するスーパーで新規オープンが相次いだ。結果として月初から来客数が少なく、苦戦している。
▲	百貨店（宣伝担当）	来客数の動き	・インバウンド、国内客共に、前年の実績は上回っているが、増勢は鈍化している。例年、夏休みでの航空券の値上がりに伴い、インバウンドは減少するほか、国内客も賃上げ効果以上に値上げの影響が大きく、財布のひもが固くなっている。
▲	スーパー（企画担当）	競争相手の様子	・猛暑によって来客数が減り、売上も低迷している。新米の価格が上がるなか、古米の販売が一気に増えているが、入荷状況が悪く、欠品の状態が続いている。売上の規模が大きいいため、店全体の売上にも影響している。
▲	スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・商品の値上げによる影響は、懸念されたよりも少ないが、気温が高過ぎる影響が出ている。日中の来客数が減っている一方、朝晩の来客が増えたほか、販売量の落ち込みによる売上の減少もみられる。
▲	スーパー（社員）	お客様の様子	・今月になって日中の気温がかなり上昇し、チラシを投かんしたり、イベントを実施したりしても、以前ほどは来店が増えないほか、来店客の間でも積極的に買物をする動きが少ない。
▲	衣料品専門店（店員）	来客数の動き	・需要の閑散期に入ったほか、特に今年は気温が高い影響か、来客数が減っている。
▲	家電量販店（店員）	来客数の動き	・物価やエネルギー価格の高騰で、購買意欲が低下している。必要最低限の商品ですら安価な物しか売れず、来客数も前年比で10%以上の減少となっている。来客数については、今後も増加が見込めない。
▲	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・物価上昇の影響で、消費者の買い控えが発生している。
▲	乗用車販売店（営業企画）	単価の動き	・為替の影響で好不調の判断が難しくなっている。
▲	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・梅雨明け後の連日の猛暑により、来客数は激減している。商店街では夏祭りも開催されたが、前年の方が入出は多く、今年は少なめとなっている。
▲	一般レストラン（企画）	販売量の動き	・売上は前年の水準を上回っているが、前年比での増加率は今年度で最も小さくなっている。一方、来客数は今年度に入って初めて前年を下回っている。
▲	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・一般客向け、富裕層向け共に、利用が鈍化している。インバウンドによる利用の有無で、近隣の観光地との格差が広がっているなど、地域格差が深刻化している。
▲	タクシー運転手	お客様の様子	・物価の上昇に所得の増加が追いついていない。
▲	通信会社（経営者）	お客様の様子	・原材料費や燃料費といった原価の上昇で、利益が圧迫されている。
▲	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・販売量が3か月前と比べると減少している。
▲	競輪場（職員）	販売量の動き	・今月の客単価は8643円と、3か月前の8416円とほぼ変わらないが、今月の1日当たりの販売総額は約679万円であり、3か月前の約789万円よりも悪化している。
▲	その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	来客数の動き	・猛暑により熱中症警戒アラートが発出され、国内レジャー客が外出を抑えている。その一方、インバウンドの動きは引き続き堅調である。
▲	住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・地価が高止まりするなか、物件の流通量が減少している。

	▲	住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・不動産の流通量が確実に減少している。
	▲	住宅販売会社 (総務担当)	販売量の動き	・物価の上昇に伴い、価格転嫁も一部で実施しているため、販売量に影響が出ている。
	×	百貨店(売場主任)	来客数の動き	・7月27日までの来客数が前年比で10.6%減と非常に厳しい。売上もそれに連動して、3.9%減となっている。食料品の売上は2.1%減と少し減りであるが、精肉のなかでも牛肉の減少が目立つなど、消費者の節約志向が顕著である。
	×	衣料品専門店 (経営者)	単価の動き	・消費者は商品の価格にシビアになっている。
	×	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・7月は高齢者の来店が少なくなっている。服に関心がないのか、買う余裕がないのか、かなり減少している。
	×	家電量販店(店員)	競争相手の様子	・近隣の競合店での値引きが激化している。当店と共通している商品の契約を取るために、著しい割引で購入に誘導している。それに伴い、当店での購買意欲が薄れて、他店への買い回りが増えている。
企業 動向 関連 (近畿)	◎	広告代理店(営業担当)	受注量や販売量の動き	・Web媒体、紙媒体共に、広告売上が前年を上回っている。
	○	食料品製造業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・猛暑日が続いていることもあり、飲料の売上は少し良くなっている。夏祭りに伴う需要で、飲料のケース販売も目立っている。
	○	化学工業(管理担当)	受注量や販売量の動き	・電装品向けや半導体向け、土木建築向けの出荷量が好調である。
	○	金属製品製造業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・価格改定前の駆け込み需要で、売上が増えている。
	○	輸送業(経営者)	受注量や販売量の動き	・多少は家電の配送が増えている。工事が遅れていた物件が完成したこともあり、引っ越しも少し増えている。
	○	経営コンサルタント	取引先の様子	・観光地を有する自治体の取引先では、インバウンドが押し寄せ、好景気に沸いている。
	□	食料品製造業 (従業員)	受注量や販売量の動き	・来月のお盆休みが例年よりも長いため、受注量、製造量共に前倒しで増えているが、値上げの影響で家庭向けの販売量は減少している。業務用の販売は増えているものの、全体としての好不調は判断が難しい。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・月末が近づくと、取引先が在庫調整を行っている。
	□	出版・印刷・同関連産業(企画営業担当)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大が再び始まっているが、受注件数や金額に変化はない。
	□	プラスチック製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・景気の停滞感はあるが、一時的な流れの悪さによるものか、現時点では判断材料が少な過ぎる。今後の様子をみながらとなるが、短期的な在庫調整による影響もある。
	□	窯業・土石製品製造業(管理担当)	受注量や販売量の動き	・円安基調は少し落ち着いてきたが、基調に大きな変化はない。今春は賃金のベースアップが実施されるなど、賃上げの動きが進んでいる。その一方、物価上昇を加味した実質賃金は減少しているため、しばらくは様子見の状況となる。
	□	一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・コロナ禍を経て、工業分野では産業構造に変化が出てきたと感じる。当社は先進的な計測技術を提供してきたが、工業製品の品質を積極的に高める意欲が市場にはみられず、従来の需要だけが残っている。
	□	一般機械器具製造業(設計担当)	それ以外	・物価の上昇に対して、消費者が支出を抑えながら対応している。
	□	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・景気全体は悪いが、半導体業界には活気がある。ただし、半導体業界にも不安な動きがみられ、特に日本については先行きが懸念される。
□	電気機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・現状は受注量の増加要素が見当たらないものの、原材料価格が為替の影響で高騰する可能性は少なく、不安要素としては大きくない。	

	□	電気機械器具製造業（宣伝担当）	受注量や販売量の動き	・猛暑の影響でエアコンの動きが好調なほか、パリオリンピックを見据え、テレビの販売も好調に推移している。ただし、猛暑やパリオリンピックの開催という外部要因で需要が伸びているだけであり、景気が良くなっているとは言い切れない。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注が伸びてこない。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・気温が例年よりも高いため、販売店への来客数が減少している。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・外注先への発注単価や材料価格の高騰などで、コストが上がっており、受注にも少し影響が出ている。更に値上げをしたくても、なかなかできない状況である。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・契約後も、一部の建設資材価格の高騰や、納期が不安定な状態が続いている。工期の長い作業所では、技能労務者不足も加わって苦慮している。
	□	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・今年も例年どおり、家具が売れない時期となっている。
	□	金融業（営業担当）	取引先の様子	・大阪・関西万博の開催が近づいているが、それに伴って受注が増えている企業は限られており、足元で良くなっている取引先は少ない。
	□	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・外国人観光客による利用が、4月と比べると1割ほど減少している。一方、国内客の利用は予想したほど減少しておらず、特に飲食店は好調に推移している。
	□	その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・7月は梅雨明けが早く、気温が高かったこともあり、夏物商材の動きは良いが、それ以外は特に変わらない。
	▲	繊維工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・原材料費や加工コストが上昇しているのに対し、販売価格が上がらないため、当然ながら利益率は下がっている。また、催事での販売では、消費者のクレジットローンが使えないケースが増えている。効率の良い販売ができなければ、出張経費だけが增えるため、厳しい状況となっている。
	▲	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車関連の部品や材料の荷動きが予想以上に悪いほか、それ以外の土木建材関連にも回復の動きがみられない。
	▲	その他製造業〔履物〕（団体職員）	受注量や販売量の動き	・秋冬商材のオーダーの動きが鈍く、市場全体の動きも芳しくない。
	▲	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・生活必需品の価格や電気代、燃料代が上昇するなか、住宅への投資意欲は減少している。
	▲	不動産業（営業担当）	取引先の様子	・都心部の1階店舗からアパレルや物販店の撤退が続いている。空室率が上がり、賃料が下がっているなど、景気が悪くなっている。
	▲	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・今期に入って、前年度の後半にみられた交通広告の勢いがみられない。ただし、例年厳しくなる7月、8月にも、前年並みの発注は見込めそうである。
	×	金融業〔投資運用業〕（代表）	それ以外	・従業員数10人以下の零細企業を中心に、倒産ラッシュとなっている。正に大企業にやさしく、中小零細企業が厳しい経営を迫られる状況が続いている。
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・物価の上昇が止まらない。
雇用 関連 (近畿)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・観光業界の活性化に伴い、新規求人数も増えている。
	○	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・求職者が希望する一般事務の求人は減っているが、生成AI関連のスペシャリスト求人には、企業も高額な給与を支払う傾向がある。
	□	人材派遣会社（役員）	求職者数の動き	・企業、求職者共に、活発な動きが続いている。
	□	人材派遣会社（支店長）	求職者数の動き	・求人案件に対して、応募人員が余り気味となっている。

□	人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・求人数の減少がみられる。例年の動きであるが、お盆前までは求人数に動きはなさそうである。
□	新聞社〔求人広告〕 (営業担当)	それ以外	・円安傾向から一転し、急激に円高傾向が進むなど、先行きが不透明であり、物価も安定していない。ただし、3か月前と比べると、良くも悪くも景気は変わっていないと感じる。
□	新聞社〔求人広告〕 (担当者)	それ以外	・新聞広告の出稿状況を見ると、3か月前とほぼ変わらない。
□	職業安定所(職員)	求人数の動き	・6月の新規求人数は前年比で減ったが、新規求職者数の減少が大きかったため、新規求人倍率は上昇している。
□	職業安定所(職員)	求職者数の動き	・3か月前よりも新規求職数は減少し、新規求人数は増えているが、この動きは季節的なものとみられる。前年も同じ状況であったため、特に大きな変化はない。
□	民間職業紹介機関 (営業担当)	周辺企業の様子	・まだ2025年卒の採用を継続中の企業が多く、求人紹介の依頼が続いている。一方、2026年卒の採用に向けたインターシップ等のプログラム掲載は、夏の開催分の依頼が落ち着き、秋冬に向けたイベントなどの申込みが始まっている。申込数は例年どおりで大きな変化はないが、動きが早いと感じる。
□	学校〔大学〕 (就職担当)	雇用形態の様子	・多くの企業で、新卒者の初任給が引き上げられている。ただし、その理由は人材確保のためであるなど、景気が上向いた影響ではない。
□	学校〔大学〕 (就職担当)	それ以外	・大規模な病院では、暑さの影響もあって利用者がとても増えている。高齢者への特定健診などの案内が公共機関から届いたことも影響しているほか、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数も増えている。
□	その他雇用の動向を把握できる者	周辺企業の様子	・引き続き、物価上昇の影響をマイナスと感じる企業が多い。
▲	職業安定所(職員)	求職者数の動き	・物価の上昇を背景に、60歳以上の求職者数が増加傾向にある。ただし、就職には簡単につながらないことから、有効求職者数は高止まりの状況にある。
▲	学校〔大学〕 (就職担当)	それ以外	・人手不足による初任給の上昇傾向がみられるものの、全体的な賃金の上昇にはつながっていない。
×	アウトソーシング企業(社員)	雇用形態の様子	・最低賃金上がるにつれて、パート社員が優遇される。年収130万円の壁のある人は労働時間が減り、そのしわ寄せは正社員に集まるため、賃金は上がらないのに仕事量だけが増えている。